

令和4年度 学校改善策一覧表 (○数字は重点施策)

堅田高等学校

A 学習指導

番号	改 善 策
①	新しい学習指導要領に沿った生徒の学力定着と向上のため、授業改善・「学びの変革」に努める。
②	総合的な探究の時間のより一層の充実をはかる。
③	1人1台端末の有効な使用について検討し、計画的に実践していく。(新)

B 生活指導

①	問題行動の未然防止に努め、あらゆる機会を捉えて「あ・じ・み」指導を徹底する。
②	登下校の継続したマナー指導を行う。
③	学期毎の「いじめ」アンケートを継続し、「いじめ」の早期発見に努める。
④	部活動の活性化に努め、部活動加入率75%以上を継続する。
5	関係(支援)機関との連携強化に努める。
6	インクルーシブ教育システムの構築に向けて、「合理的配慮」に努める。

C 進路指導

①	多種多様化する進路希望に対する、個々の生徒に応じた進路実現をサポートする。
②	大学入試説明会に積極的に参加して入試情報を入手するとともに、大学入試制度改革へ向けての各種学習会に積極的に参加する。
3	進路指導をより充実させ、進路実現に向けて支援をする(①国公立大・難関私立大の推薦入試を志望する生徒への個別・面接等の指導②四大講座、看護講座、就職、公務員講座を充実させる。)
④	オンライン出願の増加に伴う、複雑多岐にわたる生徒の進学先への提出物に対して、適切な指導を行い、不備や未提出のないような仕組みを確立する。(新)
⑤	企業訪問、各種連絡会に積極的に参加し、求人開拓をおこなう。また、応募前職場見学への複数参加も確実にを行う。

D 学校行事

①	中学生体験入学や広報活動を充実させ、本校の特色をはじめ、学習活動や部活動の周知に努める。
2	修学旅行の準備を綿密に行い、充実した行事になるように努める。

E その他

1	堅田人権教育研究会事務局の運営と参加に努める。
2	情報モラル教育の充実を努める。

小計 18 施策 (うち重点施策 12)

前年度 小計 18 施策 (うち重点施策 12)

F 管理運営等（非公表）

①	（学年指導・学習）基礎学力の定着を図る取り組みとして朝のSHR時に小テストを行う。
②	（学年指導・学習）家庭学習の習慣化ができるよう、週末課題指導や学習時間チェックを提出させ、学習指導に努める。
3	（学年指導・学習）教室の整理整頓や個人ロッカー活用で学習環境を整える。
4	（学年指導・進路）定期的な面談を実施し、生徒の情報を的確に把握し、進路決定ができる意識の向上に努める。
⑤	（学年指導・進路）進路実現に向け、関係分掌との情報を密にし、生徒個々の状況に適した進路指導に努める。
⑥	（学年指導・生徒指導）基本的な生活習慣を確立し、自律ある高校生の育成に努める。進路決定後についても同様に取り組む。
⑦	（学年指導・学年経営）進路指導・生活指導等、家庭環境の厳しい生徒、支援を要する生徒には、管理職や関係分掌、保護者と連携を密にしながら対応する。
8	（学年指導・学年経営）学年間及び他分掌、保護者との連携による生徒への対応に努める。
⑨	（学年指導・全体）提出物の期限を厳守する指導に努める。
10	（生徒指導）各学期に1度、部室点検を実施する。
⑪	（生徒指導）各行事（雁翔祭、避難訓練、薬物乱用防止講演会等）の実施時期を再検討する。
12	（教務・広報）HPの更新のための人的環境を整え、HPの充実に努める。
13	（教務・図書）図書委員会を中心とした校内イベントや地域ボランティアなどの活動により読書推進に努める。
⑭	（教務）スタディサプリの効果的な活用方法の確立をめざす。（新）
⑮	（教務・全体）オンライン環境整備・ICT教育・Teams等の急激な進行に伴う教員の組織的な運用の研修や活用方法の検討を実施する。
⑯	（進路指導）進路行事を精選し、より生徒にあったものに充実させる。
⑰	（進路指導）3年進路面談で収集した情報を確実に集約し、以降の進路指導に活用する。
⑱	（進路指導課・調査書委員会）ポートフォリオの記録を調査書に反映させる学校としての基準を定める。
19	（進路指導課・調査書委員会）指定校推薦決定におけるルールについて見直す。 検討課題：特定大学の指定校受験者への大学入学共通テストの受験を義務化する。
⑳	（全体）教育公務員として不祥事等の防止に努めるとともに、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みを進める。

小計 20 施策（うち重点施策 13）

前年度 小計 22 施策（うち重点施策 14）

合計 38 施策（うち重点施策 25）

前年度 合計 40 施策（うち重点施策 26）